

15 磐井の井戸

延喜年間(901~922)にはすでに存在していたという磐井神社。その磐井神社のすぐ前に「磐井の井戸」がある。もとは神社境内にあったが、今は境内から外れて歩道の端に残されたかたちになっている。かつては東海道の旅人たちがこの清水を飲み、霊水として人気があった。ただし「心正しき者が飲めば真水、邪心があれば塩水になる」という言い伝えがある。現在は残念ながら使用できない。



17 妙安寺

池上本門寺の末寺で、京急蒲田駅のすぐ南側にある。小田原北条氏の有力家臣・行方氏ゆかりの寺である。永禄年間(1588~70)、行方修理亮義安の妻・妙安尼が夫の死後に、兄斎藤政賢の屋敷に建立した。斎藤氏屋敷跡としても知られている。



16 聖跡梅屋敷公園

江戸時代の道中常備薬「和中断」を商って繁栄した山本家が、名木を集めて造った梅林の跡である。旅人相手の休み茶屋を開いたこともあって、亀戸とともに梅の名所としてにぎわった。広重の浮世絵「江戸名所百景」にも描かれている。かつては皇族も立ち寄った梅の名園であり、園内には紅白あわせて百本あまりの梅の木がある。



18 六郷神社

天喜5年(1057)、源頼義・義家の父子が奥州へ向かう折、この地の老杉に白旗を立てて勝利を祈願したところ、勝利をおさめたので、凱旋後に創建したと伝えられている。毎年1月7日に行われる「七草子ども流鏝馬祭」は、東京都の無形民俗文化財に指定されている。神社には、慶長5年(1600)に架けられた木造六郷橋の橋柱がある。



1000m